

兵庫県豊岡市但東町

# 日本・モンゴル民族博物館年報

第 15 号 (平成 25 年度)

Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum  
No. 15 (for the fiscal years of 2013)

# あ い さ つ

平成 25 年度は、日本・モンゴル民族博物館基本計画を策定し、その初年度の取り組みとして、当館の存在を広く周知すべく、情報発信に力を注いだ年でした。在大阪モンゴル総領事館を初め、在日本モンゴル大使館、民間のモンゴル関係団体など、関係機関・団体との連携に努めました。具体的には、ハワリーンバヤル（東京都内で開催されたモンゴルの春祭）や関西在住のモンゴル関係者懇談会での交流、PRを行いました。

10 月には、恒例のモンゴル国研修生（中学生 6 名、引率 3 名）を受け入れ、4 家庭にホームステイし、市内 2 中学校での文化交流、各施設への視察などで大いに交流を深めました。そして、旧但東町時代からのこれら取り組みに対して、モンゴル国教育科学大臣から豊岡市長に感謝状が贈られました。

また、平成 25 年度は企画展を 4 回開催。これまで、企画展は 63 回を数え「小さなまちの大きな国際交流」を標榜しながら、モンゴルの歴史や文化を広く紹介してきました。

国内では、政権交代後の大幅な金融緩和等、デフレ解消のための新たな経済政策が実施されて景気回復の兆しが見られ、また 2020 年の東京オリンピック開催が決まるなど、明るい話題もあった年でもありました。

入館者数については、残念ながら前年度より 1,098 人、9.3%の減となりましたが、今後は、博物館本来の使命である文化振興はもとより、モンゴル交流を進めている民間団体や行政機関とも連携して、来館者数増に努めるとともに、地域拠点としての日本・モンゴル民族博物館を目指します。

平成 26 年 3 月 31 日

日本・モンゴル民族博物館  
館長 植田 政由



2013 年 モンゴル友好訪問団の受入

# 目 次

<b>I. 平成 25 年度概要 . . . . .</b>	<b>1</b>	<b>VI. 管理運営 . . . . .</b>	<b>14</b>
<b>II. 展覧事業 . . . . .</b>	<b>1</b>	1. 組織・職員	
1. 常設展		2. 予算の概要（決算額）	
2. 企画展		3. 利用状況	
<b>III. 資料収集保存事業 . . . . .</b>	<b>4</b>	4. 施設管理	
1. 寄贈		5. 博物館協力会	
2. 資料の貸出		6. 各種委員会委員等の受諾	
3. 資料の燻蒸		7. 博物館ネットワーク	
<b>IV. 普及教育事業 . . . . .</b>	<b>6</b>	8. 博物館日誌（抄）	
1. 出前授業		9. お客様の声から（抜粋）	
2. 体験教室、講座の開催		10. 日本・モンゴル民族博物館の設置 及び管理に関する条例	
3. イベントの開催		11. 施設概要	
4. トライやる・ウィークの受入れ		12. 交通案内	
5. 情報の発信と公開		13. 利用案内	
<b>V. 国際交流事業 . . . . .</b>	<b>8</b>		
1. モンゴル国との国際交流			
2. モンゴル国友好使節団の受入れ			
3. 在大阪モンゴル国総領事館との連携			
4. モンゴル国関係者との連携			

# I . 平成 25 年度概要

平成 25 年度は、本館の存在を広く知ってもらうべく、日本・モンゴル民族博物館基本計画を策定し、情報発信に特に力を入れた新たなスタートの年であった。各種イベントに出店してのPRや、駐日モンゴル大使館、大阪モンゴル総領事館などとの連携。また、交流事業として、恒例のモンゴル国友好訪問使節団（中学生6名、引率者3名）を受け入れた。

展示事業では、「モンゴルの切り絵と文様」、「教室で生まれた!? 恐竜たち」、「暮らしを彩るーあかりと器ー」、「型紙ー技と芸術ー」の、さまざまな分野の企画展を4回開催。また、市内各小学校への出前授業や来館を通じて教育普及活動に努めた。

通常の業務は、展示活動や資料収集、調査、施設管理、教育普及活動を中心に取り組んだ。また、さまざまな関係機関との連携をより密にする取り組みに力を注いだ年でもあった。

さらに、ボランティアグループの協力を得て、博物館前にオープンガーデンを開園。また、「資母宝まつり」や「どんど焼き」など、地域づくり団体や地区公民館との共同事業も実施した。今後、従来の各地区公民館が改編され地域コミュニティの維持が重視されるなか、地域と共同した取り組みがさらに重要になる。

利用者数については、昨今の景気低迷などを反映し、対前年度比90.7%、1,098名の減となった。厳しい市財政事情の中で、入館者数の増が今後の大きな課題となる。

## II . 展覧事業

### 1. 常設展

#### (1) 常設展示の構成

博物館の常設展示は、A棟の「たんとうの森」、B棟の「アジアの歴史と風土・モンゴル草原のいのり」、C棟の「モンゴル草原の暮らしと文化」、伝承文化体験交流館の「豊岡市たんとうの暮らし」から構成されている。

- ① たんとうの森・・・人工樹林を配し、平安時代前期の朽木仏像5体を展示
- ② アジアの歴史と風土・・・新石器時代から近代に至るまでの歴史資料を展示
- ③ モンゴル草原の暮らしと文化・・・ゲルとよばれる移動式住居を中心に、衣食住など様々なテーマに分けて展示
- ④ モンゴル草原のいのり・・・チベット仏教の寺院を再現し、仏像仏具等を展示
- ⑤ 伝承文化体験交流館・・・山里の暮らしと文化をテーマに、豊岡市但東町の歴史や住まい、暮らし、民話などを展示

## (2) 常設展の更新

当館では、開館 10 周年に企画した特別展を契機に、常設展の大幅な更新を行い、より利用しやすいよう工夫を実施してきた。平成 20 年度からは、部分的な手直しにとどめている。

平成 25 年度は、次の部分について実施した。

### ① 敷地入口付近の転落防止柵等の設置

敷地入口の右方側溝への転落防止柵等を設置した。

### ② 高圧受変電設備改修工事

耐用年数を経過して、検査機関からも取替えを指摘されていた高電圧受電設備を改修し、配電トラブルの発生防止に対応した。

### ③ 伝承文化体験交流館への廊下沿い展示室の改修工事

伝承文化体験交流館へ通じる廊下沿いのガラス張り展示室を床張りに改修して、木製の恐竜を展示した。

## (3) 屋外展示

① 山羊小屋 屋外の小屋に山羊 2 匹を飼育し公開している。

② 騎馬像 (チンギス・ハーン)

③ ボランティアグループ「そよ風」により、博物館前の芝生広場に、昨年からはオープンガーデンを設置して公開している。来館者からも好評で、今後とも継続して計画する。

## (4) 展示解説の積極的な促進

展示資料をより深く理解していただくため、希望者には職員による館内ガイドを実施している。見学の一助となるよう、利用者の興味や目的に沿った分かりやすい解説を心がける。

また、利用者からのアンケートを取り、要望がある場合はそれに沿うよう努力している。

## 2. 企画展

### (1) 第 60 回企画展 『モンゴルの切り絵と文様—切り絵作家アマルバト—』

平成 25 年 4 月 11 日～平成 25 年 7 月 30 日

97 日間 (見学者数 3,738 人)

内モンゴルの切り絵作家、アマルバト氏の切り絵を展示。



(2) 第 61 回企画展 『教室で生まれた!? 恐竜たち』

平成 25 年 8 月 1 日～平成 25 年 11 月 12 日

90 日間（見学者数 2,953 人）

県立豊岡総合高校の生徒が電機を駆使し、1 枚の板から空・陸・水棲の恐竜を誕生させた。小さな木のパーツをいくつも組んで作った骨格で、今にも動き出しそうな躍動感あふれる作品の数々を紹介。



(3) 第 62 回企画展 『暮らしを彩る-あかりと器-』

平成 25 年 11 月 14 日～平成 26 年 1 月 28 日

61 日間（見学者数 1,493 人）

紙を作るために皮を剥いだ楮の木。そのやわらかな木肌に行灯が照らし出す空間。器としてのやきものたち。コンセプトは家——ぬくもり。



### (3) 第 63 回企画展 『型紙一技と芸術』

平成 26 年 1 月 30 日～平成 26 年 4 月 5 日

66 日間（見学者数 2,685 人）

着物の柄や文様を染めるために用いる型紙。その巧みな技と高い芸術性が評価されている。昭和初期の小紋型とそれを使った型染めの再現。“京の名工” と呼ばれる和田則昭氏の型染彫刻 60 年の人生を映す作品の数々。



## Ⅲ. 資料収集保存事業

当館所蔵資料は、約 2 万点以上に及ぶ国内外の資料で構成されている。寄贈されたモンゴル民族資料 1 万 5 千点、考古資料 5 千点を基礎資料としながら、旧但東町民族資料館が収集保管してきた資料、また、個人が大切に保管されていたもので寄贈又は寄託でいただいたもの、モンゴル国内や全国各地から寄贈いただいた資料を収蔵している。

資料の収集は、寄贈、寄託、購入、採集、交換など、さまざまな方法で行っている。当館は郷土やモンゴルの自然や歴史・民族・文化に関する資料を収集するとともに、それぞれの分野でのテーマに応じ、比較資料となる国内外の資料も収集対象としている。

### 1. 寄贈

#### (1) 寄贈資料（敬称略・順不同）

##### 【個人】

川村光郎（東京都中野区）→書籍「モンゴル人民革命党略史」、日蒙漢辞典ほか

もりけん（大阪市北区）→書籍「日本の童謡、春夏秋冬」、「日本の歌」

北村太道（大阪府茨木市）→書籍「チベット密教展」

瀬崎 彊（豊岡市）→書籍「日本の蘆」ほか3点

【団体】

無し

2. 資料の貸出

- (1) (社) 日本モンゴル協会東京都板橋支部  
モンゴル友好訪問団DVD
- (2) 劇団風の子関西  
デール4、ベスト1、ゴダル1、帯2
- (3) (株) ラムゼス 代表 河野洵一郎（東京都新宿区四谷3-7）  
写真データ（モンゴル館前の騎馬像、宗教・ゲルの館内展示物）
- (4) 三田市立本庄小学校  
モンゴル国産デール3 帯3 帽子2
- (5) 豊岡市立合橋小学校  
書籍「ふるさとの文化財」
- (6) 豊岡市立出土文化財管理センター  
縄文土器ほか

3. 資料の燻蒸

平成25年度は、それぞれ年2回ずつ、害虫駆除センター クリーン有限会社によって、全館対象にピレスロイド系殺虫剤、有機リン系乳剤を噴霧し、殺虫・防虫処理を実施した。

また、収蔵庫内においても、年3回蒸散剤を設置して殺虫・防虫処理を実施している。

## IV. 普及教育事業

### 1. 出前授業

学校からの依頼に応じて、学校での授業に職員を派遣する出前授業を平成 12 年度から実施している。授業では教員と協同し、持参した博物館資料を活用するなど、児童・生徒の理解を助けるよう工夫した。市教委員会の方針に沿い豊岡市内の小学校、22 校を対象に出前授業を実施した。

日付	学 校 名	内 容
① 1 月 14 日	豊岡市立田鶴野小学校 2 年生 30 名	「スーホの白い馬」
② 1 月 17 日	豊岡市立八代小学校 2 年生 13 名	「スーホの白い馬」
③ 1 月 21 日	豊岡市立高橋学校 2 年生 7 名	「スーホの白い馬」
④ 1 月 23 日	豊岡市立中竹野小学校 2 年生 8 名	「スーホの白い馬」
⑤ 1 月 24 日	豊岡市立寺坂小学校 2 年生 8 名	「スーホの白い馬」
⑥ 1 月 28 日	豊岡市立府中小学校 2 年生 37 名	「スーホの白い馬」
⑦ 1 月 30 日	豊岡市立八条小学校 2 年生 68 名	「スーホの白い馬」
⑧ 1 月 31 日	豊岡市立豊岡小学校 2 年生 53 名	「スーホの白い馬」
⑨ 2 月 4 日	豊岡市福住小学校 2 年生 25 名	「スーホの白い馬」
⑩ 2 月 6 日	豊岡市立新田小学校 2 年生 39 名	「スーホの白い馬」
⑪ 2 月 7 日	豊岡市立中筋小学校 2,3 年生 19 名	「スーホの白い馬」
⑫ 2 月 10 日	豊岡立静修小学校 2 年生 11 名	「スーホの白い馬」
⑬ 2 月 13 日	豊岡市立清滝小学校 2 年生 24 名	「スーホの白い馬」
⑭ 2 月 14 日	豊岡市立港東小学校 2 年生 10 名	「スーホの白い馬」
⑮ 2 月 17 日	豊岡市立三江小学校 2 年生 23 名	「スーホの白い馬」
⑯ 2 月 18 日	豊岡市立神美小学校 2 年生 13 名	「スーホの白い馬」
⑰ 2 月 21 日	豊岡市立五荘小学校 2 年生 144 名	「スーホの白い馬」
⑱ 3 月 24 日	豊岡市立小野小学校 2 年生 11 名	「スーホの白い馬」
⑲ 2 月 25 日	豊岡市立城崎小学校 2 年生 22 名	「スーホの白い馬」
⑳ 2 月 28 日	豊岡市立三方小学校 2 年生 22 名	「スーホの白い馬」
㉑ 3 月 4 日	豊岡市立小坂小学校 2 年生 17 名	「スーホの白い馬」
㉒ 3 月 6 日	豊岡市立港西小学校 1,2 年生 27 名	「スーホの白い馬」

### 2. 体験教室・講座の開催

開催日	教室、講座名、参加者数の順に記載
① 7 月 23 日	お絵かき風鈴作り (14 名参加)
② 7 月 28 日	焼き物 (13 名参加)
③ 8 月 4 日	木工 (9 名参加)
④ 8 月 12 日	ビー玉万華鏡づくり (12 名参加)
⑤ 11 月 30 日	フェルトの羊づくり教室 (17 名参加)

- ⑥ 12月1日 焼き物教室 (10名参加)
- ⑦ 12月21日 いけばな教室 (6名参加)
- ⑧ 3月1日 型彫型染教室 (21名参加)

合計8講座 85名

平成26年3月1日、恒例となった「まるごとモンゴル雛まつり」を博物館内で開催し、馬頭琴等演奏会も実施。このほか、市役所議場や稽古堂など4会場でも馬頭琴等演奏会を開催した。

また、「トライやる・ウィーク」として、但東中学校2年生2名（男女各1名）を受け入れ、ヤギの飼育、収蔵品の整理、博物館周囲の環境整備などに取り組んだ。

### 3. 情報の発信と公開

博物館を有効に利用できるよう、博物館活動に関する様々な情報を発信していくことは重要な活動の一つである。最近ではインターネットによる情報発信も重要な手段になっている。博物館の事業の広報に留まらず、様々なメディアを通じて積極的に情報を発信するよう努めている。

#### (1) 博物館の広報活動

- ① 博物館案内等の主な定期発送先小学校190校 中学校70校 高等学校11校 報道関係機関等9社
- ② 報道機関への情報提供
- ③ 旅行会社への資料提供
- ④ 5/5 在日本モンゴル留学生の春まつり、ハワリーンバヤル（東京都内で開催）に職員が出向き、当館をPR実施した。
- ⑤ 6/23 豊岡絆フェスタに参加してPRを実施した。
- ⑥ 10/26 関西のモンゴル秋祭りナマリーンバヤル（大阪国立民族学博物館で開催）に参加してPRを行った。
- ⑦ 11/4 資母地域の「宝まつり」の会場で当館のPRを行った。
- ⑧ 11/24 但東支所前広場で開催の市商工会青年部主催「光のフェスタ」イベントに参加し、モンゴルのお茶や菓子を来場者に無料提供した。
- ⑨ 博物館パンフレットの英語版、モンゴル語版を新たに作成し、関係機関にも送付しPRを充実した。
- ⑩ 11/30 モンゴル講演会（大阪大学モンゴル語学科 今岡良子准教授）
- ⑪ 1/12 どんど焼き（資母公民館、地域づくりの会・しぼとの共催事業）
- ⑫ 1/14 職員研修 講師＝田中公明氏（財団法人東方研究会研究員、チベット仏教研究者）

## (2) インターネットによる情報提供

- ① 電子メール
- ② ホームページ

インターネット利用者の増加に伴い、博物館でもその技術を活用した情報提供の可能性を探ってきた。平成 11 年 8 月 16 日からホームページ、平成 25 年度からはフェイスブックページを開設している。

<http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

ホームページの内容は下記のとおりである。

- ・博物館の沿革と経緯
- ・交通案内・利用案内
- ・収蔵資料
- ・展示室紹介
- ・国際交流
- ・イベント情報
- ・ミュージアムショップのご案内

ホームページの更新や追加は毎月の催し物案内のように定期的に行うもののほか、各担当により随時行っている。また、今年度新たにフェイスブックページを立ち上げた。

<https://www.facebook.com/monmuseum>

# V. 国際交流事業

## 1. モンゴル国との国際交流

モンゴル国との交流については、研修生の受入、友好訪問使節団の派遣、豊岡市国際交流事業の協力支援、各種イベントの開催など、多くの方との関わりのもと継続して行っている。

(平成 25 年 5 月 17 日)

在大阪モンゴル国総領事チョナイ・克蘭ダ氏、ナムスライ・エルデネバートル書記官が視察来館

(平成 25 年 10 月 26 日)

在大阪モンゴル国総領館主催のナマリーンバヤル（モンゴル秋祭り）が吹田市の国立民族学博物館で開催され、当館からも出向いてPRを行った。

(平成 25 年 11 月 30 日)

大阪大学外国語学部の今岡良子准教授による、モンゴル講演会「遊牧の民と暮らしと家族の絆」を当館内で開催した。(36名参加)終了後、同准教授を交え関西在住のモンゴル関係者、当館職員等との交流会を開催した。

(平成 26 年 2 月 28 日～3 月 3 日)

馬頭琴奏者ドルジパラム氏、ドンブラ奏者クグルシン氏、NPO 法人しゃがあ理事長西村幹也氏の受入。滞在期間中にイベント「まるごとモンゴル雛まつり」の開催、ミニコンサート（市内の地区公民館、市役所、玄武洞等）の開催。

## 2. モンゴル国友好使節団（中学生）の受け入れ

平成 25 年度は、モンゴル国の中学生 6 名を中心とした計 9 名の友好使節団を受け入れた。市内 4 家庭にホームステイし、2 中学校での体験授業や交流、施設訪問、海の体験などで大いに交流を深めた。

10 月 4 日 関西国際空港到着、豊岡市に到着、歓迎交流会

10 月 5 日 市長・議長を表敬訪問、竹野スノーケルセンターで海の体験（ホストファミリー宅宿泊）

10 月 6 日 ホストファミリーと終日過ごす（同宿泊）

10 月 7 日 市内施設見学、2 中学校で体験授業、交流会（ホストファミリー宅宿泊）

10 月 8 日 市内施設見学、さよならパーティ（やまびこ宿泊）

10 月 9 日 関西国際空港から帰国

## 3. 参加者感想

(1) S. デムベレル氏（訪問団団長、豊岡・モンゴルシルクロード友好協会副会長、男性）

「感想」

今回、豊岡市長の招聘で、モンゴルの子どもたちの団長として来たことに対して非常に喜んでおります。豊岡市、特に但東町の昔の友達とこの訪問を利用し、会うことが出来て満足です。豊岡市には何回も来たけれど、私の知らないこともたくさんありました。新しいことを発見し、また、新しい友達が出来たことに対してうれしく思っています。私の感想を簡単に言います。

① 第 38 回神美地区大運動会に参加したとき、何かの体育の競技と思いましたが、しかし、幼稚園の子どもなどをはじめ、生徒や家族が参加しやすい運動会でした。モンゴルでもこういう形の運動会を開きたいです。

② モンゴルでは、社会主義の時代に有線放送をイデオロギーの武器として使っていました。しかし、今では有線放送は使っていません。でも、豊岡市は有線放送を全然違った目的で使っているのをとても気に入りました。わがモンゴルに豊岡市と同じような形で有線放送を普及させたいです。

③ 水はやはり宝物です。豊岡市には、浄水施設が大小 250 箇所あります。また、ドクターヘリ、ドクターカーなどの医療サービスを行っているのは、市民の健康維持のために大きな関心を払っていると深く感じました。

- ④ 人間はお互いに尊重するひとつの形は、あいさつ、笑顔が大切だということを、各訪問先で強く感じました。モンゴル人のわれわれもこういう習慣を持ちたいです。
- ⑤ 柳原守さんの家で3日間、ホームステイしました。毎日、豊富な日本料理でもてなしていただきました。実は、私は日本の滞在を利用していろいろな和食を味わいたいと思っていましたが、その希望は十分達成できました。柳原さんのご家族の方々、本当にありがとうございました。
- ⑥ 豊岡市の新しい庁舎を見学しましたし、昔の友達、金津さんの墓参りができ、なつかしい日本・モンゴル民族博物館を再度見学し、職員の皆さんと再会できて大変うれしく思っています。
- 書きたいことがまだたくさんありますが、これで感想を終わらせていただきます。豊岡市の今後の繁栄をお祈りします。

(2) D. ラグワー氏（訪問団副団長、ウランバートル市ナラン中学校教育担当マネージャー、男性）

「日本に訪問した感想」

あらゆる国は、独自の歴史、文化、伝統、教育、ライフスタイルを持っています。私たちは、ひとつの世界で生きていて、お互いの優れたところを学びあい、友人になることができます。

この思いを胸に、私たちは（3人の大人、6人の子ども）、モンゴル・豊岡シルクロード友好協会長のデムベレル先生と一緒に日本へ6日間訪問しました。日本だけではなく、世界の人々にも知られている“コウノトリ”と呼ばれる鳥をはじめで見ました。短い間でも、私たちを助け、このようないいチャンスを与えてくださった豊岡市長をはじめ、豊岡市役所、日本モンゴル民族博物館のみなさん、モンゴル側ではデムベレル先生に、心から感謝します。

「百聞は一見にしかず」と同様に、モンゴルには「千回聞くよりも、一度体験せよ」ということわざがあります。初日から私たちが温かく迎えられたことは、今も心に残っております。この6日間で日本人の勤勉な性格、とくに時間をきちんと守るという習慣を目の当たりにしました。今後、モンゴルに帰っても実行するようにしたいと考えております。

訪問期間中、私たちは2つの学校を訪れました。日本政府が生徒たちに安全性の高い学習環境を提供している点に感動しました。このような良い雰囲気のある学校で勉強している生徒たちは、将来、世界で高く評価される専門家になれるにちがいないと思いました。帰国後には、日本で得た経験を自分の学校でも実施していきたいと考えております。

また、この街の市民が、環境問題に関心を持つと共に、“コウノトリ”の保護に着手していた点は非常に素晴らしいと思われ、私たちもこのような正しい道を見つけなければならないと決意しました。そうすれば、大気汚染、喫煙、交通渋滞、ほこり、土壌の汚染など、モンゴルの社会問題を完全に解決することが不可能ではないと理解しました。

他方、博物館では、日本人の職員であっても、私たちの国の伝統や生活様式について、私たちよりもわかっていて、説明していることに感動しました。むしろ、私たちこそ、自分の国の歴史、文化をくわしく知らないと思われ、恥ずかしく感じました。

最後に、私たちを親切に迎えてくださった日本の祖父、祖母や家族をはじめ、豊岡市のみなさまに感謝いたします。私たちに作ってくださった数々のおいしい食事を絶対に忘れません。

このプログラムへの参加を通じて、私たちは日本人とモンゴルの関係を発展させるために一生懸命に頑張りたいという気持ちになりました。

心からのお礼を申し上げます。

(3) A. ウェンザヤさん（豊岡. モンゴルシルクロード友好協会事務員、女性）

「感想」

みなさん、こんにちは。まず、私たちに日本へ行くチャンスを与えてくださった先生たちに“ありがとうございます”と言いたいです。私は日本へ行き、日本についてたくさんを知ることができたのは、先生方のおかげだと思っています。

日本はアジアのあいさつする習慣、規則、忍耐、友好関係を維持してきました。モンゴルには海がないので、私にとって、はじめて海産物を食べたのはおもしろかったです。また、海産物は特別な味がしてとても気に入りました。ホームステイして日本人の両親ができたことも、とてもうれしいです。日本人は私たちを心から熱く迎えてくれました。

両親と一緒に日本の有名どころに行きました。日本の文化の中でいちばんおもしろかったのは「生け花」と「着物」でした。私にとってずっと忘れられない思い出になりました。こころから感謝します。

(4) B. シャタル君 (ウランバートルナラン私立高校 1 年生、男子)

「感想」

私たちに日本へ旅行するチャンスを与えてくれたデムベレル先生、ラグワ  
ー先生、そして豊岡市のみなさんに心から感謝しています。

私が日本へ行って一番驚いたことは、天気が蒸し暑く感じたことでした。

海では、はじめは恐ろしく見えたけれど、泳いでみると、もっと泳ぎたい  
気持ちになりました。そして生け花も体験しました。とても気に入りました。  
日高東中学校の生徒たちはとても友好的に迎えてくれました。

日本でいろいろなことを体験しました。たとえば生け花、昔の舞踊、楽器  
がとても気に入りました。そして海のイルカの素晴らしいゲームやさまざま  
な魚などを見ました。その次に“玄武洞”に行つて、そこのすばらしい景色  
に感動しました。

世界中にあまりいない鳥を育てている日本人と出会いました。私にやさし  
くしてくれた日本人、ホームステイ先の家族に感謝しています。

短い間でしたけれど、とても楽しくて、たくさんの思い出をつくりました。  
最後にもう帰国したくない気持ちになってしまいました。みなさん、本当に  
ありがとうございました。

(5) M. ボロルダライさん (ウランバートルナラン私立中学校 2 年生、女子)

「感想文」

みなさん、こんにちは

私たちは、日本の豊岡市への旅行を通してたくさんのことを体験し、多く  
のことを学びました。私たちをこころよく受け入れてくれた豊岡市のみなさん  
に心から感謝しております。町と学校の周りの人々が、自分たちの伝統と  
文化を大事にして生活しながら、好きな動物を飼っているのに感動しました。  
昔からの美しい景色をそのままに維持してきたのは素晴らしいです。市役所  
は自分のためではなくて、市の人々のためにたくさんのことをしてあげてい  
るよう感じました。私がホームステイした家族はみんなやさしくて、とて  
もおいしい料理を作れる人々でした。短い間でも私はとても慣れて、帰国し  
たくない気持ちになりました。

モンゴルで見られないものを日本で見られたのでとてもうれしかったです。  
海の生き物の名前も多く覚えました。海の中の様子を見る体験ができてうれ  
しいです。

最後に日本にいるとき、心から助けてくれた人々に“ほんとうにありがと  
うございました”と言いたいです。

- (6) B. ツェルメグさん（ウランバートルナラン私立中学校1年生、女子）

「第一印象」

私の名前はツェルメグと申します。日本に6日間滞在しました。日本人は私たちを親しく迎えてくれました。飛行機から降りてすぐ“幸祥”というホテルへ行って歓迎会に参加しました。

その次の日は海へ行って泳ぎました。そこでさまざまな生き物を見ました。そのあとホームステイをする家族と会いました。短い間でもたくさんの友達ができ、いい思い出になりました。私たちはたくさんのところに旅行しました。その中でいちばん印象に残ったのは日本モンゴル民族博物館でした。モンゴルの博物館が日本にあることに感動しました。日本の農場、生活、状況をくわしく見ました。

最後に“とよおか”市民、ホームステイしたお父さん、お母さん、お姉さん、お兄さん、友達に本当に心から感謝しております。

- (7) B. プレフバトスへ君（ウランバートルバヤンズルへ区トゥグスデルゲレフ私立中学校3年生、男子）

「感想」

私の名前はプレフバトスフへ Purevbatsukh です。日本に来て、本当におもしろかったです。海へ行って、多くの美しく興味深いものを見ました。日本の人々が心を込めて、私たち一同を歓迎してくれてうれしいです。私は中学校で生け花を学習して、楽しい時間を過ごしました。私はとても感動しました。日本人は魚、米、海の食品を食べていて、私も気に入りました。モンゴル人は牛を使用して牛乳、肉を食べています。日本に行くチャンスを与えてくれた人に自分の感謝の気持ちを伝えたいです。

私は日本から学んだすべてのことを、自分の親戚や友人に教えてあげたいです。

- (8) B. アルタンスフへ君（オブス県ウランゴム市第3中学校1年生、男子）

「日本に来た第一印象」

日本に着いて第一印象は、空港から出て、モンゴルと違うのがわかりました。それは汚いものが全然なくて、周りがきれいだったことです。そして急に寒い地方から暖かいところに来てとても驚きました。

日本人はとても親切で友好的に迎えてくれました。私たちは最初に海に行きました。そこでさまざまな生き物を見たり、伝統的な料理を食べたりしてとても楽しく過ごしました。はじめて海産物を食べたことは、私にとってすごかったです。

私がホームステイした家族はお父さん、お母さん、娘の三人でした。私にとっても優しくしてくれました。日本にいるとき茶道、生け花、そして着物も体験しました。日本は交通が発展している国で、人たちは礼儀正しく感じました。

日本にホームステイしてたくさんのことを学びました。私たちにこのような良いチャンスを与えてくれた日本人、先生たち、友達に心から感謝しております。

(9) T. トゥグスジャルガルさん (オブス県ウランゴム市オブス・エルデム中学校1年生、女子)  
「日本で過ごした第一印象」

私が日本に着いて、一番驚いたのは関西国際空港でした。なぜなら関西空港は海の上で組み立てられていたからです。それを見て私は、日本人は勤勉だなと思いました。

モンゴルには海がないから、私にとってとてもおもしろかったです。海は非常に動植物にとって豊かで、人間は食べ物のためにそれらを利用します。私が初めて食べて見た日本食はとてもおいしかったです。

短い間でもいろいろな文化と習慣を体験しました。茶道、生け花、着物を着ました。

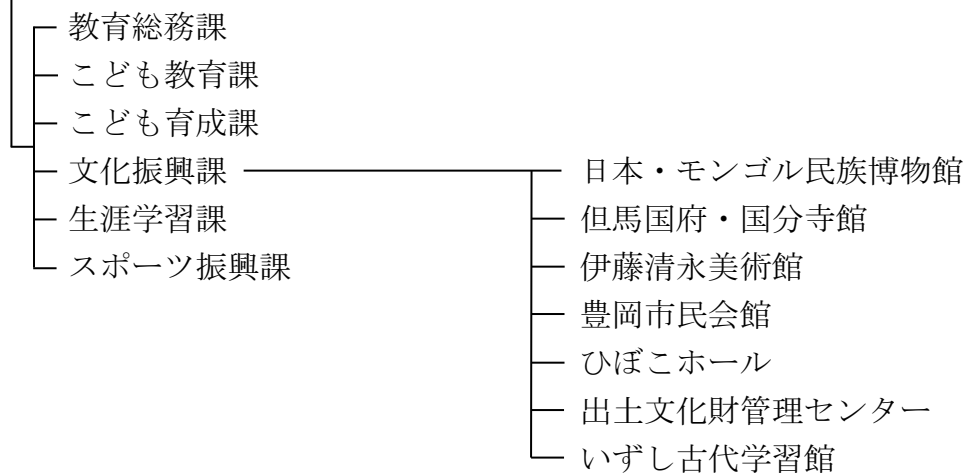
私がホームステイした家族はお父さん、お母さん、娘の三人でした。日本人は私たちをとってもあたたかく迎えてくれました。日本人は自分の国の景色、歴史を大切にしている人々だと思いました。

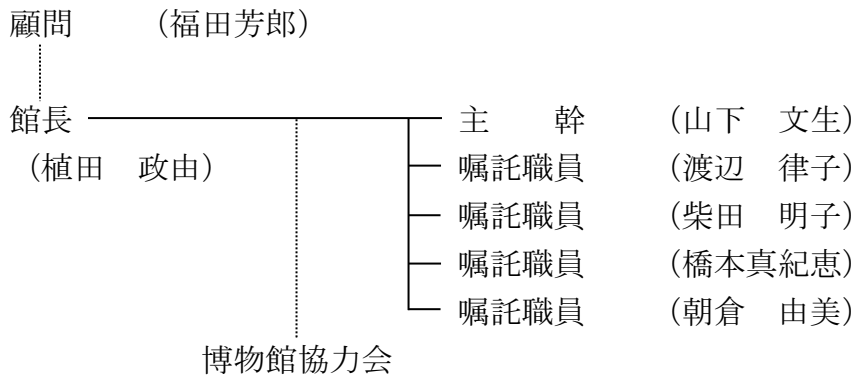
## VI. 管理運営

### 1. 組織・職員 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

#### (1) 組織

豊岡市教育委員会





(2) 職員

館 長	植田 政由 (平成 23 年 4 月～)
	(嘱託職員)
主 幹	山下 文生 (平成 25 年 4 月～)
嘱託職員	渡辺 律子 (平成 8 年 11 月～)
嘱託職員	柴田 明子 (平成 13 年 4 月～)
嘱託職員	橋本真紀恵 (平成 17 年 4 月～)
嘱託職員	朝倉 由美 (平成 25 年 4 月～)

(3) 事務分掌

植田 政由	管理運営に関すること。講師の派遣に関すること。モンゴル国との国際交流、モンゴル関係団体との連絡調整、文化財の調査研究、文化財保護に関すること。
山下 文生	館の庶務、歳入歳出及び経理、企画展示、出前授業及び講師派遣に関すること、各種教室・講習会の開催
渡辺 律子	歳入歳出及び経理、受付及び案内、常設展示・企画展示に関すること、館内外の管理に関すること
柴田 明子	ミュージアムショップに関すること、受付及び案内、各種教室・講習会の開催、館内外の管理に関すること
橋本真紀恵	文書の管理、受付及び案内、博物館協力会に関すること、館内外の管理に関すること
朝倉 由美	文書の管理、受付及び案内、ホームページの管理、館内外の管理に関すること

2. 予算の概要 (決算額)

単位:千円 (百円以下四捨五入)

[人件費]	22,391
① 報酬	9,975 (嘱託職 5 名)
② 給与	4,511 (一般職 1 名)
③ 職員手当等	4,792 (扶養手当 0, 通勤手当 565, 時間外勤務手当 483, 期末手当 3,179, 勤勉手当 565, 住居手当 0, こども手当 0)
④ 共済費	3,113

〔管理費〕	8,809
① 旅 費	2 (普通旅費)
② 需用費	6,551 (消耗品費 222、燃料費 134、印刷製本費 95、光熱水費 4,575、修繕料 1,488、飼料費 37)
③ 役務費	424 (通信運搬費 258、保険料等 69、広告料 89、手数料 8)
④ 委託料	1,600 (電気保安点検 173、自動ドア点検 55、消防施設点検 22、芝生管理 100、清掃管理 345、警備 265、資料燻蒸 160、除雪 272、電気使用料監視 8、空調設備点検 200)
⑤ 使用料	207
⑥ 負担金	10
⑦ 公課費	15

〔事業費〕	3,163
① 報償費	630
② 旅 費	96
③ 需用費	1,890 (消耗品費 1,748、食料費 8、印刷製本費 134)
④ 役務費	285 (通信運搬費 165、筆耕翻訳料 120)
⑤ 使用料	72 (会場借上料 40、通行料 30、駐車料 2)
⑥ 備品購入費	190 (事業用備品 190)

※別途、モンゴル交流促進事業費(モンゴル国中学生友好訪問団受け入れ事業)を国際交流推進費で2,171千円を支出済み。

### 3. 利用状況

当館は平成8年11月3日に開館し、利用者は平成26年3月末累計で、403,609名となった。平成25年度は開館日数が305日で、入館者が10,657名であった。平成25年度利用者は前年度と比べ9.3%の減少となった。原因としては、チューリップまつりの開催期間の関係などが考えられるが、今後は、より情報発信の充実に努めなければならない。

#### 【平成21年度(開館日:307日)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	83	30	23	36	25	33	50	22	17	45	40	50	454
一般	1,059	459	260	385	484	452	507	588	238	325	459	511	5,727
高、大	15	9	19	5	26	13	2	28	5	10	10	8	150
小、中	126	56	10	46	103	42	10	17	3	39	34	69	555
その他	2,851	389	442	577	539	537	380	480	206	406	450	448	7,705
計	4,134	943	754	1,049	1,177	1,077	949	1,135	469	825	993	1,086	14,591
1日平均	153	35	29	40	44	43	35	44	20	36	41	42	48

【平成 22 年度(開館日:308 日)】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
協力会地区	99	32	25	18	25	53	12	30	12	12	15	31	364
一般	1,077	459	467	370	383	190	255	497	258	103	252	340	4,651
高、大	17	20	2	4	26	6	15	22	2	1	7	7	129
小、中	97	49	3	30	49	6	10	10	9	13	40	39	355
その他	2,000	555	377	385	481	333	321	359	206	254	357	496	6,124
計	3,290	1,115	874	807	964	588	613	918	487	383	671	913	11,623
1 日平均	118	41	35	30	36	24	23	35	21	17	28	35	38

【平成 23 年度(開館日:309 日)】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
協力会地区	40	40	23	45	49	40	30	35	14	16	14	30	376
一般	796	463	190	188	335	206	393	376	160	165	193	397	3,862
高、大	12	7	2	2	19	9	14	1	2	3	2	10	83
小、中	60	29	7	14	59	8	7	7	2	23	19	44	279
その他	892	433	242	531	555	286	592	517	230	517	523	635	5,953
計	1,800	972	464	780	1,017	549	1,036	936	408	724	751	1,116	10,553
1 日平均	67	36	19	29	39	21	38	37	17	30	31	41	34

【平成 24 度(開館日:309 日)】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
協力会地区	26	41	68	24	28	54	33	28	19	18	26	47	412
一般	566	702	327	225	305	327	376	492	196	153	229	502	4,400
高、大	7	15	3	6	10	1	15	2	0	2	8	4	73
小、中	47	51	8	19	31	5	8	13	4	5	24	91	306
その他	906	722	554	500	543	420	280	540	222	318	803	756	6,564
計	1,552	1,531	960	774	917	807	712	1,075	441	496	1,090	1,400	11,755
1 日平均	55	57	37	29	35	31	27	41	19	21	45	52	38

【平成 25 年度(開館日:305 日)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	41	36	34	21	35	73	28	32	41	10	26	60	437
一般	634	421	289	197	353	316	228	510	139	140	199	362	3,788
高、大	4	14	12	1	39	5	1	7	1	2	3	7	96
小、中	57	24	6	17	58	13	5	4	6	14	20	47	271
その他	728	508	488	406	622	347	512	432	221	468	748	585	6,065
計	1,464	1,003	829	642	1,107	754	774	985	408	634	996	1,061	10,657
1日平均	54	39	32	25	40	29	30	38	20	28	42	39	35

#### 4. 施設管理

##### (1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理を但東町シルバー人材センターに年間委託している。本年度はボランティアで行っていただいた活動も含め3回の雑草除去作業を行った。また、博物館協力会や近隣地区の皆さんにも芝生や植木の管理などの館外の美化に協力をいただいた。

##### (2) 補修工事

###### ①敷地入り口の転落防止策等設置（平成 25 年 6 月）

当館敷地入り口付近に柵を設置し転落事故の発生予防を図った。

###### ②プレーリードッグ飼育室跡の改修（平成 26 年 3 月）

飼育室を改修し、新たに木製の恐竜模型を展示した。

#### 5. 博物館協力会

博物館協力会は当館が位置する資母地区の住民から「いつまでも美しい建物にしよう」という声が上がりと、地区住民の呼びかけで平成 9 年 2 月 10 日に発足した。会長は、博物館が位置している如布区長がこれにあたり、周辺地域の区長や各団体の長が理事として連なる。また、資母地区選出市議会議員、博物館OBが顧問となる役員構成になっている。

平成 25 年の活動内容は以下のとおりである。

##### (1) 役員

会長 如布区長 田中勝利

理事 13名 顧問 10名

(任期：平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

##### (2) 活動内容

###### ①役員会の開催

平成 25 年 5 月 17 日に博物館主催による役員会を開催し、博物館の現状説明と運営に対しての協力依頼を行った。

②芝生広場除草等ボランティア

敷地内芝生広場の除草や、山羊のえさの提供等に協力いただいた。

③各種事業への協力

平成 26 年 3 月に開催した「まるごとモンゴル雛まつり」（馬頭琴、ホーミー演奏ほか）の開催 P R に協力いただいた。

6. 各種委員会委員等の受諾

平成 25 年度現在、博物館職員が委嘱を受けている各種委員会、協会役員等は次のとおり。

植 田 政 由

但馬地域博物館連絡会委員（平成 25 年 4 月～平成 27 年 3 月 31 日）

7. 博物館ネットワーク

(1) 兵庫県博物館協会

兵庫県内の博物館・美術館・資料館で構成され、平成 26 年 3 月末で 143 館が加盟し、県立歴史博物館が事務局館を務めている。

平成 25 年 5 月 30 日 兵庫県博物館協会総会

兵庫県博物館ガイドの作成、配布

ホームページでの夏休み子ども向けイベントの紹介

展覧会案内情報更新

はくぶつかんガイドの作成・配布

ホームページの更新

(2) 但馬地域博物館連絡会

兵庫県北部に位置している但馬管内の博物館施設が、相互協力して博物館活動の振興を図るため平成 9 年 4 月 25 日に設立。平成 26 年 3 月末現在、17 館が加盟している。

当館は平成 9 年 4 月に加盟。その後、幹事館となって平成 18 年 6 月から平成 21 年 8 月まで事務局を担当。平成 22 年度まで監事を務めたが、平成 23、24 年度は役職なし。平成 25 年度から 26 年度まで役員に就任している。

平成 25 年 4 月 25 日 役員会

平成 25 年 6 月 7 日 総会

平成 25 年 6 月 27 日 第 1 回役員会

平成 25 年 9 月 26 日 ジオパーク研修会

平成 25 年 10 月 10 日 但馬まるごと感動市での P R

## 8. 博物館日誌抄

平成 25 年度の主な出来事を日報から抜粋して記載する。

- 4 月 10 日 企画展展示替
- 4 月 18 日 チューリップ祭開園
- 4 月 28 日 モンゴル博物館協力会役員会
- 4 月 29 日 チューリップ祭閉園
- 5 月 7 日 資母小学校 6 年生 18 名が、モンゴル館で社会科授業（潮崎所長）
- 5 月 10 日 オオサンショウウオ調査（館長）
- 5 月 14 日 小人石像の洗浄ボランティア（数森石材）
- 5 月 16 日 神戸市立布引中学校いのちの教育体験授業入村式（館長）
- 5 月 17 日 在大阪モンゴル国総領事ほか来館（館長、山下、教育長ほか）
- 5 月 18 日 神戸市立布引中学校生徒 17 名と受入農家 10 名来館
- 5 月 23 日 神戸市立西代中学校生徒 7 名と受入農家 2 名来館
- 5 月 24 日 神戸市立西代中学校生徒 7 名と受入農家 2 名来館
- 5 月 25 日 神戸市立西代中学校生徒 12 名と受入農家 2 名来館
- 5 月 27 日 4 館館長会議（館長）
- 5 月 28 日 神戸市立大池中学校生徒 12 名と受入農家 4 名来館
- 5 月 30 日 兵庫県博物館協会総会（山下主幹）
- 6 月 3 日 在大阪モンゴル国総領事を訪問（館長、山下ほか）
- 6 月 3 日 トライアルウイーク開始（6/8 まで）
- 6 月 4 日 但東支所連絡会（館長、山下）
- 6 月 7 日 但馬博物館連絡会総会（館長）
- 6 月 8 日 トライアルウイーク最終日
- 6 月 9 日 オオサンショウウオ調査（館長）
- 6 月 16 日 如布区の草取りボランティア
- 6 月 20 日 博物館敷地入り口付近の転落防止柵設置工事を施工
- 6 月 22 日 但東中学校トライアルウイークの実施報告会（館長）
- 6 月 23 日 とよおか絆フェスタに出店（山下、柴田）
- 6 月 23 日 あじさい祭訪問（館長）
- 6 月 24 日 日出神社改修見学会（山下）
- 6 月 27 日 但馬博物館協会役員会（館長）
- 7 月 1 日 東京在住のモンゴル博物館協力者来館案内（館長）
- 7 月 1 日 クールスポット開始（～9/30）
- 7 月 4 日 但東支所課長会（館長）
- 7 月 8 日 コミュニティづくり研修会（山下）
- 7 月 9 日 豊岡市正法寺老人会へ出前授業
- 7 月 13 日 高橋地区公民館事業で但東町の文化財・農村調査来館

- 7月14日 高橋地区公民館事業で但東町の文化財・農村調査来館（2日目）
- 7月18日 豊岡市博物館運営委員会（館長）
- 7月20日 館内身障トイレをウォシュレット化工事
- 7月23日 夏休みモンゴル体験教室（お絵かき風鈴づくり）
- 7月24日 博物館前の草刈ボランティア（シルバー人材センター）
- 7月28日 博物館前に案山子の設置（そよ風の会）
- 7月28日 夏休み体験教室（やきもの教室）
- 7月30日 館内の燻蒸
- 7月31日 企画展展示替
- 8月4日 木工教室
- 8月6日 夏休み体験教室（モザイクで絵を書こう）
- 8月12日 夏休み体験教室（ビー玉万華鏡づくり）
- 8月20日 モンゴル研修中学生のホームステイ打合せ（館長、山下）
- 8月21日 高圧受変電改修工事
- 8月22日 徳島県阿南市長が来館
- 8月27日 豊岡市博物館運営委員会委員が視察来館
- 9月8日 もり・けんコンサート（お話とコンサート）
- 9月12日 市博物館等館長会議
- 9月16日 文化財パトロール(台風関係)
- 9月20日 モンゴル研修中学生の来豊関係協議で神美公民館へ（館長、山下）
- 9月22日 モンゴル研修中学生のホームステイ打合せ（館長、山下）
- 9月26日 但馬博物館連絡会研修会
- 10月4日 モンゴル国友好使節団来豊
- 10月8日 モンゴル研修中学生のさよならパーティ
- 10月9日 モンゴル研修中学生帰国
- 10月15日 神戸市教育委員会より委員長ほか来館
- 10月19日 豊岡市ふるさと再発見の旅で19名来館
- 10月21日 学校・支所・公民館連絡会（館長）
- 10月26日 ナマリーンバヤルに参加（大阪／館長、山下、渡辺）
- 11月4日 「しば宝まつり」に参加し資料を展示
- 11月10日 「まるごと感動市」にてパンフレット配付等でPR（植田）
- 11月11日 市経営戦略会議に出席（館長、山下）
- 11月13日 第62回企画展展示替
- 11月15日 館内会議
- 11月16日 関西文化の日（無料入館日）
- 11月17日 関西文化の日（無料入館日）

- 11月24日 光のフェスタに参加
- 11月26日 次回企画展の打ち合わせ
- 11月30日 モンゴル講演会～遊牧の民と暮らしと家族の絆～（36名参加）
- 12月1日 「やきもの室」（10名参加）
- 12月2日 但東支所課長会
- 12月4日 S.デムベレル氏（モンゴル豊岡シルクロード友好協会副会長）来館
- 12月6日 S.デムベレル氏 講演会（館長出席）
- 12月19日 支所・学校等会議（館長）
- 1月9日 総合支所管理職会議（館長）
- 1月12日 資母「どんど焼き」
- 1月12日 日本・モンゴル民族博物館のあり方に係る市政策調整会議（館長、山下）
- 1月29日 第63回企画展展示替
- 1月30日 市経営戦略会議（館長、山下）
- 1月31日 支所、学校等会議（館長）
- 2月24日 豊岡市博物館、美術館運営委員会（渡辺、朝倉）
- 2月28日 馬頭琴演奏会（市議会議場）
- 3月1日 まるごとモンゴル雛まつり（博物館内）
- 3月2日 馬頭琴演奏会（玄武洞公園、小野地区公民館）
- 3月3日 馬頭琴演奏会（市役所稽古堂）

### 【お客様の声より抜粋】

以下は、平成25年度来館者の声を抜粋したもので、博物館職員として真摯に受け止め、今後の運営に活かしたいと考えている。

- ◎4月14日（京都府福知山市・30歳代女性）  
初めて来ました。子ども（5歳）には、モンゴルのおうちがとても楽しかったようです。ありがとうございました。
- ◎4月21日（兵庫県美方郡・20歳代男子大学生）  
図録はないのでしょうか？
- ◎4月21日（京都府京丹后市・10歳未満女子）  
馬頭琴を弾かせてくれてありがとう。
- ◎4月25日（京都府福知山市・40歳代女性）  
プレーリードッグがいて思っていました、いなくて残念でした。以前、来たときと比べて全体的に変っていたのでびっくりしました。

- ◎4月27日 (兵庫県加古川市・50歳代男性)  
前回、6～7年前に来ましたが、地元の暮らしや恐竜の展示が増えて、より良くなったように思います。
- ◎5月18日 (兵庫県豊岡市・40歳代男性)  
本日は大変とつぜんながら、無料案内、まことにありがとうございました。大変にみんなが、心うるおわせていただきました。感謝いたしております。これからも何回か来館させていただきます。
- ◎6月8日 (兵庫県豊岡市・10歳未満女子)  
モンゴル博物館は、すごいなと思いました。たのしかったです。
- ◎6月8日 (兵庫県豊岡市・10歳未満男子)  
モンゴルは、こんなことをしてせいかつしている人だなと思いました。楽しかったです。
- ◎6月8日 (京都府与謝野郡・30歳代女性)  
とても楽しいところでした。また来ます。
- ◎6月22日 (兵庫県豊岡市・10歳代女子)  
モンゴルに行きたくなりました。ゲルの中は最高です。ありがとうございました。
- ◎6月22日 (長野県・30歳代女性)  
モンゴル帝国史にはまり、モンゴルが大好きになったので、博物館の存在を知って是非行ってみたいくなり、念願が叶いました。内容も良かったです。
- ◎7月7日 (10歳代女子)  
民族衣装の試着のコーナーがおもしろかった。
- ◎7月27日 (兵庫県三田市・60歳代女性)  
モンゴルの切り絵はすばらしいものでした。とても切り絵とは思えないくらい美しく良かったです。その上で、珍しい青いカエルを見せていただきました。話は聞いたことがあるのですが、近くで本物を見られてとてもラッキーでした。写真も撮らせて頂いたので、孫と一緒に今日の日記の1ページに貼って思い出とします。いろいろと有難うございました。
- ◎8月3日 (大阪府八尾市・10歳代女子)  
モンゴルの民族衣装を着られるのが良かった。ゲルの展示もリアルですごい。おもしろかった。

## 10. 日本・モンゴル民族博物館の設置 及び管理に関する条例

平成 17 年 4 月 1 日

条例第 179 号

改正 平成 19 年 12 月 26 日条例第 66 号

(設置)

第 1 条 市民文化を振興し、文化活動の拠点とするとともに、モンゴル文化及び郷土の生活文化の紹介、体験交流等を通して魅力ある地域づくりを図るため、日本・モンゴル民族博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 博物館の位置は、豊岡市但東町中山 711 番地とする。

(事業)

第 3 条 博物館は、第 1 条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館の資料の収集、保管及び利用に関すること。
- (2) 博物館の資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (3) 博物館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館の資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導をすること。
- (5) 博物館の資料に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- (6) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (7) 郷土の生活文化の紹介及び体験交流に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業

2 豊岡市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、博物館の施設を、前項の事業の実施に支障のない限りにおいて、その目的以外の目的のために使用させることができる。

(職員)

第 4 条 博物館に、館長その他職員を置く。

(観覧料)

第 5 条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める額の観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第 6 条 博物館に展示し、又は保管している資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等しようとする者は、教育委員会の許可を受け、1 点 1 回につ

き 2,000 円の範囲内で規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(使用の許可)

第 7 条 別表第 2 に掲げる施設を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、前項の許可に博物館の管理上必要な条件を付し、又はこれを変更することができる。

(許可の基準)

第 8 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第 1 項の許可をしてはならない。

- (1) 博物館の施設の使用が公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 博物館の施設の使用が博物館の建物、器具、備品等（以下「建物等」という。）を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがあると認めるとき。
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団その他反社会的団体又はそれらの構成員が使用すると認めるとき。
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、教育委員会がその使用を不適当であると認めるとき。

2 教育委員会は、博物館の管理上又は公益上支障があると認めるときは、前条第 1 項の許可をしないことができる。

(使用権の譲渡等の禁止)

第 9 条 第 7 条第 1 項の規定により施設の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第 10 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可を取り消し、又は施設の使用の制限をし、若しくは使用の停止を命ずることができる。

- (1) 使用者がこの条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- (2) 使用者が許可された使用目的以外の目的に施設を使用したとき。
- (3) 使用者が許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 使用者が詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。
- (5) 第 8 条第 1 項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

2 教育委員会は、博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたときは、使用者に対し、前項に規定する処分をすることができる。

(使用料の徴収)

第 11 条 市長は、第 7 条第 1 項の許可を受けてする施設の使用につき、使用者から、別表第 2 に定める使用

料を徴収する。

(観覧料等の減免)

第12条 市長は、公益上特に必要があると認めるときは、申請により、観覧料、特別観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第13条 既に納めた観覧料等は、還付しない。ただし、第10条第2項の規定により教育委員会が博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたとして同条第1項に規定する処分をしたとき、その他市長が特別の理由があると認めるときは、申請により、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限等)

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、博物館への入館を拒絶し、又は博物館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物品若しくは動物の類を携帯する者
- (3) 建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがある者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上必要な指示に従わない者

(行為の禁止)

第15条 何人も、博物館内において、博物館の管理上支障がある行為をしてはならない。

(原状回復の義務)

第16条 使用者は、博物館の施設の使用を終了したとき、又は第7条第1項の許可を取り消されたときは、直ちに施設を原状に回復しなければならない。

2 教育委員会は、使用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置を採るべきことを命ずることができる。

(損害の賠償等)

第17条 博物館の建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させた者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事情があると認めるときは、その賠償額を減額し、又はこれを免除することができる。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理運営に関する条例（平成8年但東町条例第21号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(観覧料の特例)

3 第5条の規定は、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの間においては、合併前の出石郡但東町の区域に居住する者が博物館を観覧するときは、適用しない。

附 則（平成19年12月26日条例第66号）

(施行期日)

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例別表第2の規定は、この条例の施行の日以後に使用許可を受ける者の使用料について適用し、同日前に使用許可を受けている者の使用料については、なお従前の例による。

別表第1（第5条関係）

区 分	観覧料（1人1回につき）		備 考
	個 人	20名以上の団体	
一 般	500円	450円	「一般」とは学生、中学生又は小学生以外の者で、15歳以上のものをいい、「学生」とは大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。
学 生	300円	250円	
小学生・中学生	200円	150円	

別表第2 (第7条、第11条関係)

区 分	使 用 料		
	午前9時から午後零時まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで
企画展示室	1,500円	2,000円	
体験交流室	1,200円	1,600円	1,600円
天幕住居(ゲル)	1基につき5,000円		
備考			
1 冷暖房を使用する場合は、この表に規定するそれぞれの額の3割に相当する額を加算する。			
2 電気釜の使用料は、1回当たり1,000円とする。			

## 11. 施設概要

### (1) 本館建設概要

位 置 兵庫県豊岡市但東町中山711

基本設計 建物 井上良一建築設計事務所  
展示 株式会社さんよう

実施設計 建物 井上良一建築設計事務所  
展示 株式会社さんよう

工事施工 建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体  
展示 株式会社さんよう

工 期 建物 着工 平成7年12月14日  
竣工 平成8年8月12日  
展示 着工 平成8年5月7日  
竣工 平成8年10月30日

敷地面積 10,402.84㎡

建築面積 999.65㎡

構造概要 鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦葺  
立体トラス鉄骨(KTトラス)

各室面積 玄関ホール・たんとうの森 211.6㎡、収蔵庫1 54.6㎡、収蔵庫2 56.5㎡、荷解室 33.3㎡、多用途室 28.0㎡、事務室 33.3㎡、準備室 48.2㎡  
展示室「アジアの歴史」75.7㎡  
展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」206.8㎡  
展示室「チベット仏教」37.7㎡  
企画展示室 74.4㎡  
シルクロード(回廊)1 13.3㎡、シルクロード(回廊)2 13.3㎡、シルクロード(回廊)3 12.6㎡、シルクロード(回廊)4 12.6㎡

建物規模 平屋建て 東西41.8m 南北42.5m  
地上高9.0m

〈外装〉 複層吹付

仕 上 げ 〈内装〉 床 : モルタル下地タイルカーペット貼  
壁 : 山本窯業化学テラックス、石膏ボード、化粧合板  
天井 : 杉小幅板、岩綿吸音板貼

### (2) 伝承文化体験交流館建設概要

位 置 兵庫県豊岡市但東町中山711

基本設計 建物・展示 井上良一建築設計事務所

実施設計 建物・展示 井上良一建築設計事務所

工事施工 建物 株式会社マルテン  
展示 株式会社ナギサ建築工芸

工 期 建物・展示 着工 平成11年9月14日  
竣工 平成12年3月29日

敷地面積 317.57㎡

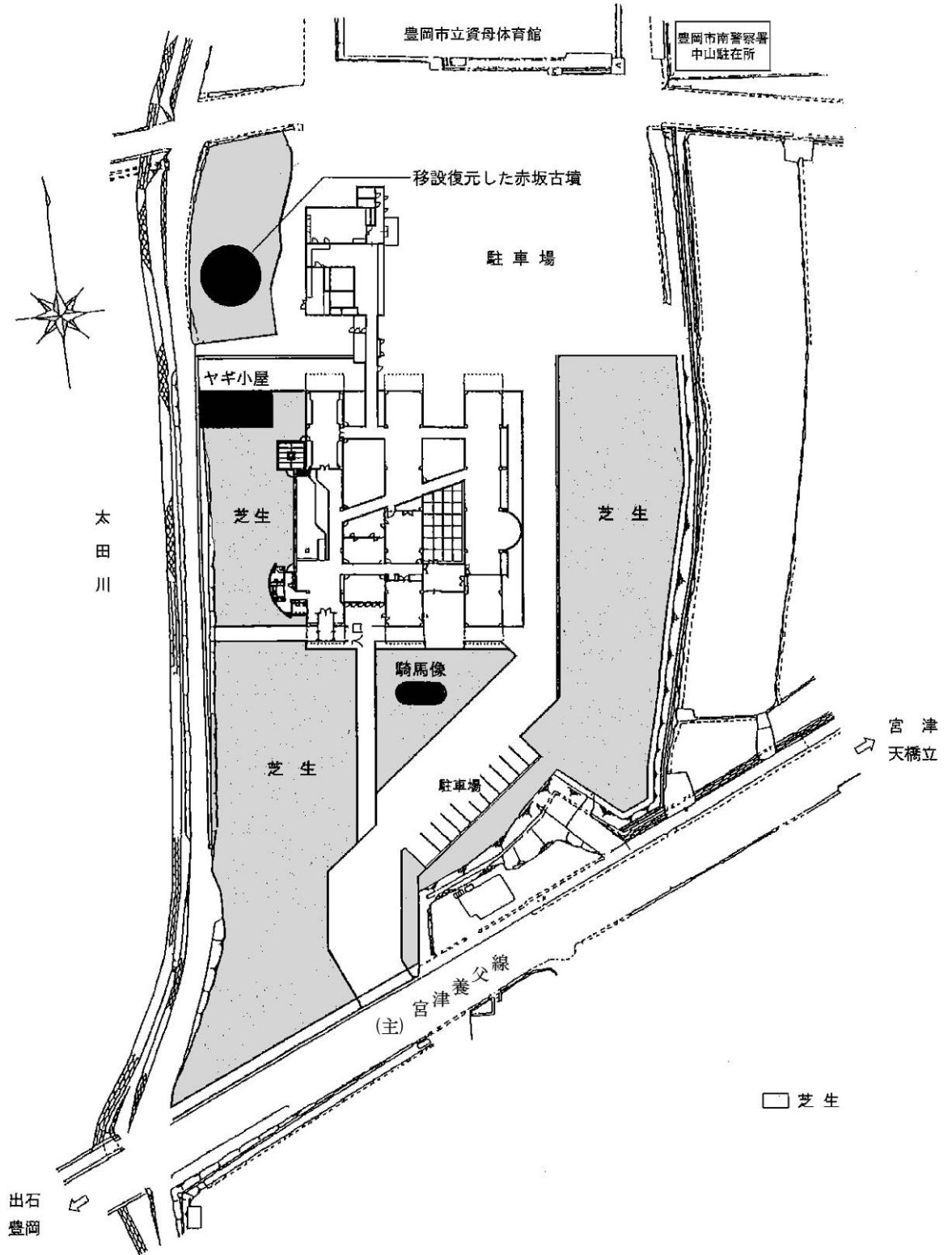
構造概要 一部鉄筋コンクリート造 木造瓦葺

各室面積 体験交流室 62.6㎡、展示室「豊岡市たんとうの暮らしと文化」112.5㎡、シルクロード(回廊)5 36.4㎡、収蔵庫 27.2㎡

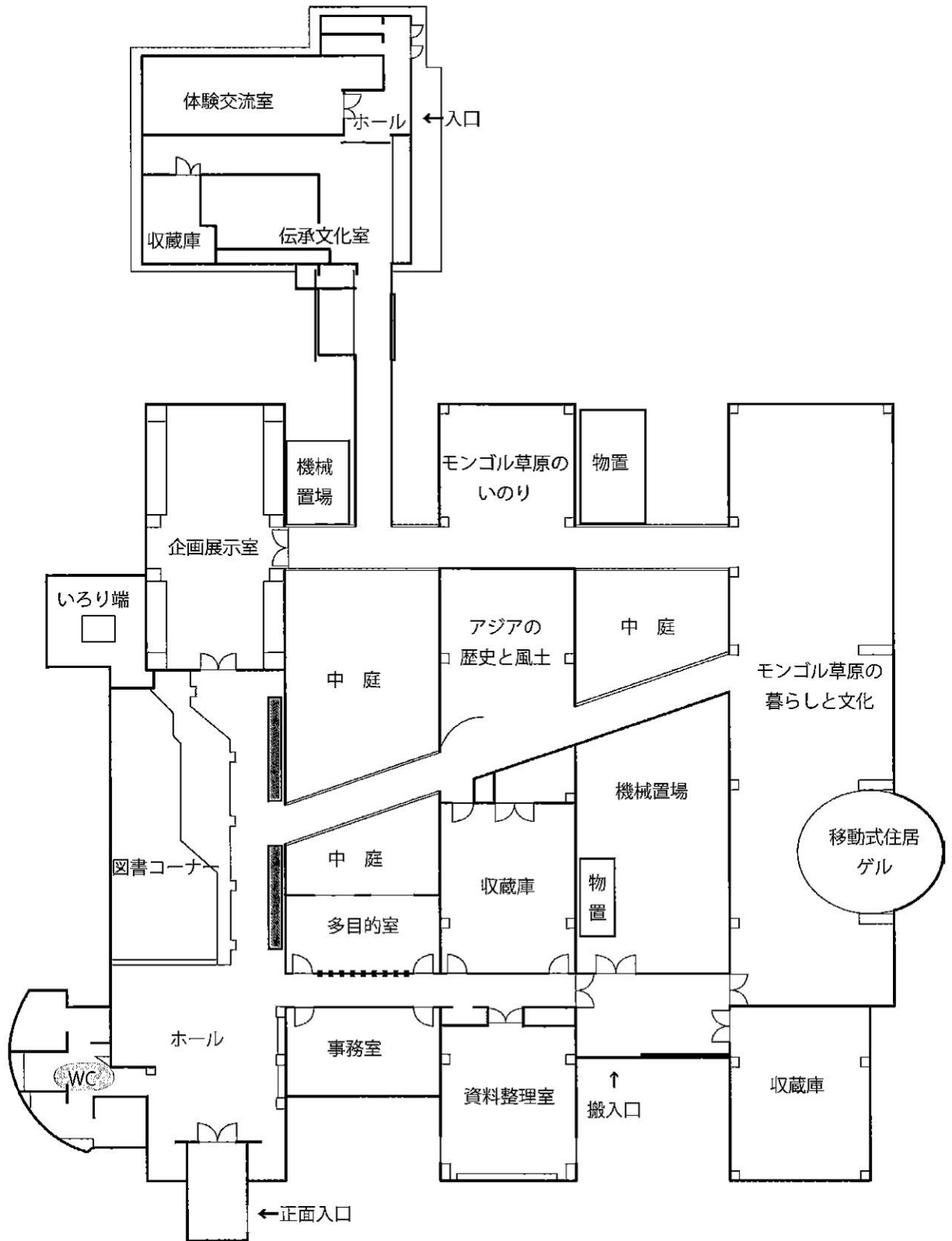
建物規模 平屋建て 東西12.8m 南北21.2m  
地上高7.1m

仕 上 げ 〈外装〉 押出形成セメント板  
〈内装〉 床 : モルタル下地タイルカーペット貼  
壁 : ビニルクロス貼 一部杉板張  
天井 : 化粧PB張 一部杉板張

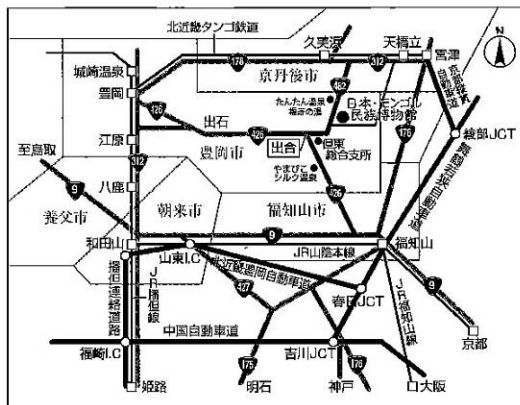
(3) 配置図



(4) 館内図



## 12. 交通案内



- JRで（山陰線）  
豊岡駅よりバスで約60分 出石で乗り換え（奥藤行き）モンゴル博物館前下車
- お車で  
大阪・神戸方面…舞鶴若狭自動車道  
福知山ICより約60分  
京都方面…京都縦貫自動車道～宮津与謝道路  
与謝天橋立ICより30分  
姫路方面…播但連絡道路～北近畿豊岡自動車道 和田山八鹿道路 八鹿氷ノ山ICより約60分

## 13. 利用案内

- 開館時間 9時30分～17時  
(入館は16時30分まで)
- 休館日 水曜日(祝日の場合は翌日)  
年末年始(12月28日～1月4日)  
展示替えによる臨時休館
- 入館料
 

一 般	500円(450円)
高校・大学生	300円(250円)
小学・中学生	200円(150円)

※( )内は20名以上の団体の場合  
※身障者は各料金の半額  
※65歳以上は半額  
※兵庫県内の小・中学生はココロンカードの提示により無料

## 日本・モンゴル民族博物館年報第15号

Annual Report of the Japan Mongolia Folk Museum  
No.15 (for the fiscal years of 2013)

〒668-0345 兵庫県豊岡市但東町中山711

711 Nakayama, Tanto-town, Toyooka-city, Hyogo Pref. 668-0345 Japan

TEL 0796-56-1000 FAX 0796-56-1022

URL <http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

E-mail [monpaku@city.toyooka.lg.jp](mailto:monpaku@city.toyooka.lg.jp)

発行／日本・モンゴル民族博物館

平成 26 年 3 月 31 日発行